

人 チーム 制度



よさこいに魅せられて

(株) 建設技術研究所
水システム部 高山 靖史さん

今回ご紹介するのは(株)建設技術研究所6年目の高山さん。忙しい業務の傍ら、よさこいを趣味にしていると聞きつけ、WLBを充実させる若者代表として詳しく話を聞いてみることにしました。

プロフィール
 氏名 : 高山 靖史
 所属 : 水システム部
 海岸・港湾室
 勤続年数 : 6年
 居住地 : 大阪府
 主な業務 : 河川管理、河口砂州対策

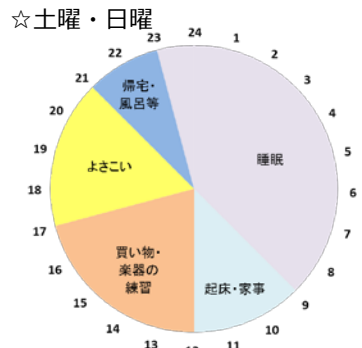
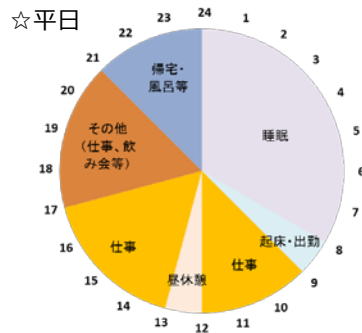
よさこいをされているそうですね。きっかけ等詳しく教えてください。

入社一年目の秋からよさこいを始めました。大学でよさこいの演舞を見て、いつかよさこいをしてみたいなと思っていました。また、関西地方出身ではないため会社以外に知り合いがおらず、会社以外で友人を増やしたかったため、市内の社会人チームに入りました。始めた当時は、よさこいという言葉だけ知っていたようなもので、どのような踊りかわかっておらず、振りを覚えるだけで精一杯でした。現在はよさこいの本場高知県で行われるよさこい祭りに参加したり、関西近郊で行われる祭りに参加したりしています。

今の活動頻度は？

よさこいの練習は、毎週日曜日に行っています。8月に高知県で開催される高知よさこい祭りの前には、平日や土曜日にも練習しています。練習が日曜日のため、平日は仕事、休日はよさこいというように、仕事とプライベートを分けています。

【平均的な一週間の過ごし方】



日々の業務に追われる年代だと思えます。仕事を理由によさこいをやめようと思ったことはありますか？

よさこいをやめようと思ったことは何度もあります。それでも辞めなかったのは、踊ることが楽しい、やめると運動する機会がなくなる、社会人チームでチームメイトも仕事をしながらよさこいを続けており、仕事の忙しさを理由にやめたくなかったという理由からだと思えます。



平日はパソコンに向かって座って仕事をしているので、体を動かす機会がほとんどありません。よさこいに参加することで週に一回だけですが、適度な運動と息抜きができています。

社会人になる前は、社会人になると仕事一筋になるのではないかと不安がありました。しかし、社会人になって働いてみて、仕事以外にも様々なことができる時間はあるのだなと思えました。

よさこいを続けるためのコツはあるのでしょうか？

よさこいを続けられている理由としては、よさこいのオンシーズンと仕事の繁忙期が重なっていないということが一番だと思います。よさこいのオンシーズンは春から夏、仕事の繁忙期は秋頃から春先であるため、春から夏まではよさこいに、秋からは仕事にと打ち込むことができます。

当社では水曜日をノー残業デイにしています。活用できていますか？

普段は家で夕食を食べることが少ないのですが、ノー残業デイの日は家で自炊したり、洗濯等の家事をしたりしています。また、会社の音楽部に在籍しており、ノー残業デイには、練習に参加したり、楽器の練習をしたりしてノー残業デイを活用しています。

10年後になりたい理想像について教えてください。

「水に関わる仕事がしたい」というのが、大学選びや就職活動をする際に重要視していた点です。現在は、中国・四国地方における河川の計画、維持管理、防災・減災に関わる仕事をしています。10年後の具体的な理想像はまだできていませんが、10年後も河川・海岸、ダムや水辺の環境づくり等「水に関わる仕事」を続けていきたいと思っています。